

マンダム、日本で初めて「頭皮汗臭を防ぐ」新規効能の承認を 厚生労働省から取得 ～リゾチーム塩酸塩、イソプロピルメチルフェノール、パラフェノールスルホン酸亜鉛が 頭皮汗臭の予防に効果を発揮～

株式会社マンダム(本社:大阪市、社長執行役員:西村元延 以下マンダム)は、体臭研究において、これまでに主に後頭部より発生するミドル男性に特有の脂っぽい汗のニオイ「ミドル脂臭」の存在を明らかにし、その研究成果を頭皮のニオイに対処できる製品開発に応用してきました。

今回、体臭研究を進める中で、リゾチーム塩酸塩、イソプロピルメチルフェノール、パラフェノールスルホン酸亜鉛を組み合わせたことで、皮脂の多い頭皮においても有効的に頭皮汗臭予防に効果が発揮できる事を見出し、日本で初めてこの3成分を有効成分とした医薬部外品において、頭皮の汗臭を予防する有効性が認められ、厚生労働省から「頭皮汗臭を防ぐ」効能効果の承認を取得しました。

1. 頭はワキの次にニオイの気になる部位でありながら、日中の対処方法が存在しない

30歳代後半～40歳代男性、20歳代～50歳代女性を対象とした当社のWEB調査において、頭はワキの次にニオイの気になる部位であることが明らかとなっています(図1,2)。また、40歳代～50歳代のミドル男性を対象とした部位別のニオイ強度の嗅覚測定において、特に、頭のニオイ強度はワキと比べても高い傾向にあることが明らかになっています(図3)。しかしながら、対処方法としては、念入りにシャンプーするなどにとどまり、日中の頭のニオイを対処するものがないのが現状でした。

2. 3つの有効成分で、皮脂の多い頭皮でもしっかりと防臭できる技術を開発

汗臭は、汗に含まれる成分を皮膚常在菌が代謝することによって発生するため、防臭には殺菌と汗の抑制が効果的です。しかし、頭のニオイ(頭皮汗臭)を防臭するには、頭皮の皮脂が課題となります。

一般的に、頭皮は体の中でも皮脂量が多いことが知られています。イソプロピルメチルフェノールは、皮脂成分を模した油性成分存在下では油に取り込まれ、殺菌力が低下することが分かっていました。しかし、イソプロピルメチルフェノールとリゾチーム塩酸塩を併用した場合は、リゾチーム塩酸塩が油に取り込まれにくいいため、油性成分存在下においても、殺菌効果を示します。また、リゾチーム塩酸塩の濃度が高くなるにつれ殺菌力が増強されることが明らかに

この件に関するお問い合わせ先

株式会社マンダム
広報部

● 大阪本社 栗山/奥田
● 東京オフィス 下川/片岡
● プレスメール press@mandom.co.jp

TEL. 06-6767-5021
TEL. 03-5766-2485

FAX. 06-6767-5045
FAX. 03-5766-2486

■ マンダム web サイト

<https://www.mandom.co.jp>



なっています(図4)。この研究成果の応用により、皮脂量が多い頭皮においても相補的に優れた殺菌力を発揮し、さらに制汗成分としてパラフェノールスルホン酸亜鉛を配合することで、頭皮汗臭を防臭する製品の開発に至りました。

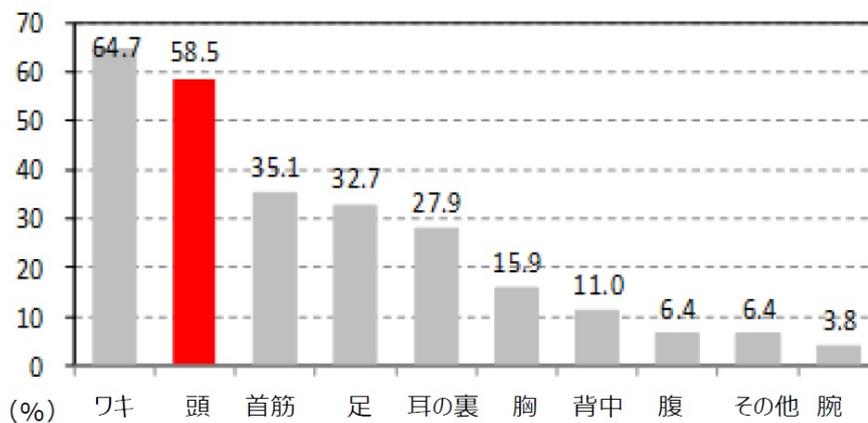
3. 実使用でのニオイ強度評価において、頭皮汗臭を予防する有効性を確認

上述の3成分を配合した製品を頭皮に2週間連用し、防臭力を評価した結果、連用後は連用前に比べて有意にニオイ強度が低下していることが確認できました。また、連用後の頭皮のニオイ強度は、洗髪直後の状態を24時間後も維持しているレベルであり、十分な防臭効果を有していることが明らかとなりました(図5)。

マンダムは、今回の知見を活用し、「頭皮汗臭を防ぐ」効果を持ったデオドラント製品を順次発売していく予定です。

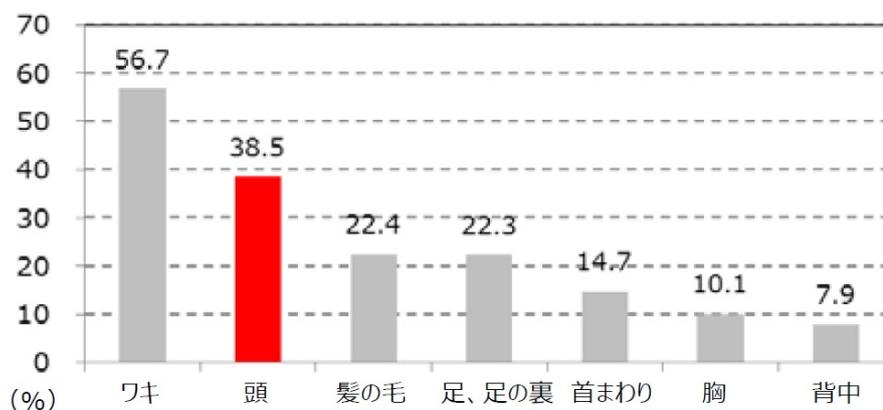
【参考資料】

図1. 男性におけるニオイの気になる体の部位



30歳代後半～40歳代男性/n=14863/2013年6月/WEB調査(マンダム調べ)

図2. 女性におけるニオイの気になる体の部位



20歳代～50歳代女性/n=10000/2018年3月/WEB調査(マンダム調べ)

図 3. ミドル男性(40 歳代~50 歳代)の部位別ニオイ強度

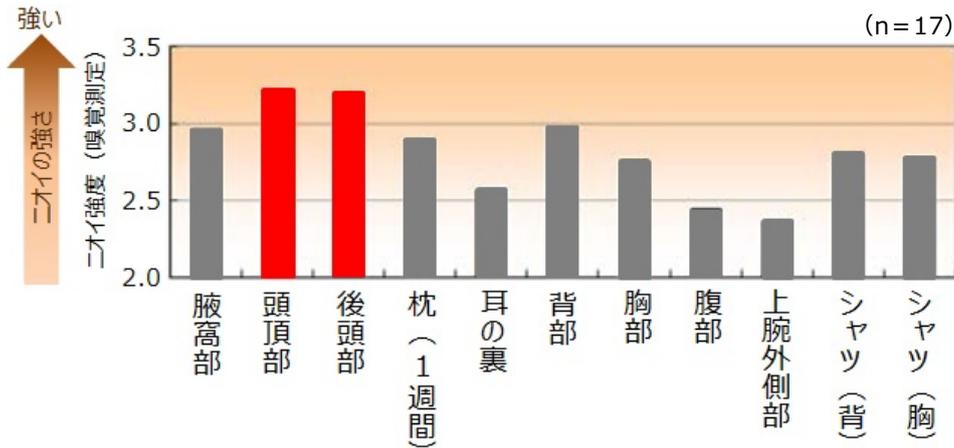


図 4. イソプロピルメチルフェノール (IPMP) に対するリゾチーム塩酸塩添加による殺菌相補効果

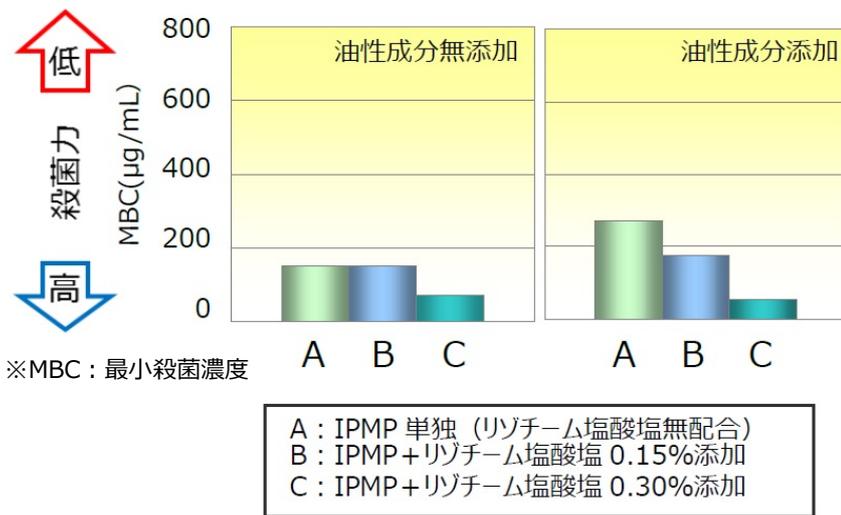
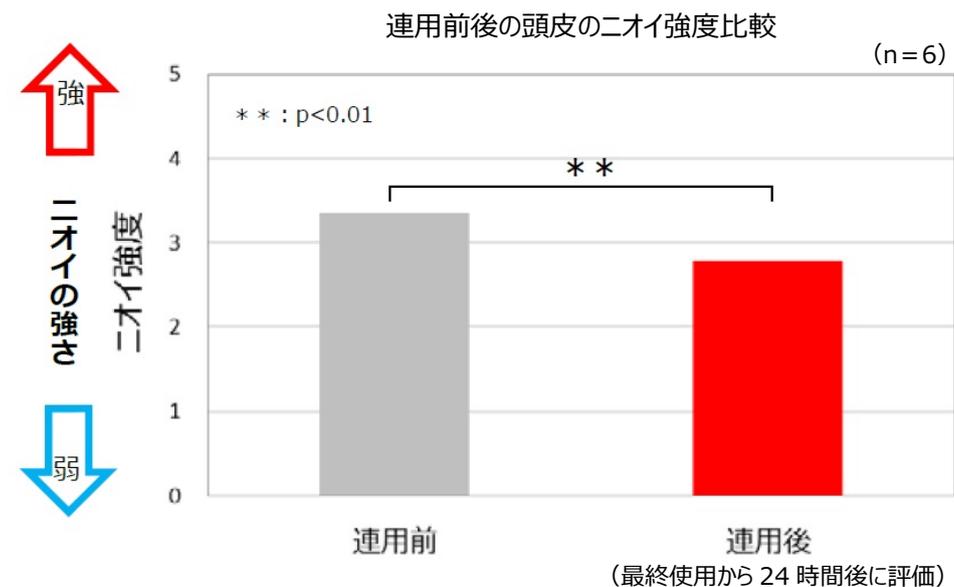


図 5. 頭皮汗臭予防効果の有効性



以上